

事業計画書

事業名	フェンシングフェスティバル2020
実施場所	プラサヴェルデ（予定）
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年10月1日 ～ 2020年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

地元沼津に昔から根付いたフェンシングを更に普及していくためのイベントの開催を行っていく。具体的には第4回目のフェスティバルを開催し、初めてフェンシングを知る子供達の体験会や既存の子供達への練習会、また一般参加者が気軽に観戦・体験も出来て、フェンシングを知ってもらう機会を提供していく。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

地域の問題として沼津の若年層の人口流出、社会的な問題として部活動の体罰や教師の長時間拘束等が挙げられる。当法人はそういった問題解決をすべく起ち上がり、本イベントを通じて沼津市と共にフェンシングの地方拠点都市を標榜していくなか2020年のオリパラ合宿誘致や継続的な大会誘致を目指しています。更には日本フェンシング協会とも連携を果たし、一つの地方モデルケースを作り上げていく。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2019年10月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 前回イベントの反省を踏まえ企画立案
2019年11月	沼津市・日本フェンシング協会選手会・イベント会社と打ち合わせ実施
2019年12月	企画概要決定
2020年1月	スポンサー企業への協賛依頼
2020年2月	チラシ配付（沼津を中心とした近隣市内の小中学校生徒へ配付）
2020年2～3月	「フェンシングフェスティバル2020開催」 （この間の土日祝日のうち、ゲスト参加者との調整等を踏まえ開催） ○スマートフェンシングを用いた体験会開催 ○日本代表選手によるデモンストレーションやトークショー ○ストレッチ講座等各種ブースを設け、一般参加体験出来るものを用意

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>静岡県フェンシング協会登録数の増加を目標とする。</p> <p>2018年10月時点で130名の登録をについて、2020年10月時点で150名（+20名）と増加させます。特に小学生～中学生を増加させることにより安定的増加を見込みます。</p> <p>※2015年10月時点114名→2018年130名（+16名）とフェンシングフェスティバル開始後、着実に県内競技人口は増加してきています。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>協会登録数 150名（+20名）</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>毎年10月時点の協会登録数にて検証を行う。</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>これまでの活動等の評価もあり、昨年12月に日本代表合宿の誘致が成功しました。引き続き、日本代表合宿の誘致や地方拠点都市（聖地）を目指していくにあたり、本イベントの開催はそれを下支えする普及活動であり、多くの沼津市民にフェンシングを知ってもらえるイベントとなります。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津のフェンシングの歴史は古く、沼津東高・沼津西高を中心として継続してきており、現在はタムラ道場や子供の教室、BDPサーブル教室と子供達の活動の場が充実してきています。沼津市における地方拠点都市と連動して、更に充実を図っていきます。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>日本フェンシング協会での取り組みについても、全日本を様々な形でショーアップをするなど工夫を凝らして、フェンシングを観ていて楽しいものにしていきます。本イベントにおいても参加する親子にフェンシングがカッコイイと思ってもらえるよう工夫を凝らしていきます。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>普及イベントは継続性が一番重要であると考えています。本イベントが4回目であり、まちづくりファンドは使用最終年度となります。活動資金の確保については、当法人のスポンサー企業及び賛助会員の増加を図ることにより、継続実施していきます。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>イベントの実現性については、第1回から協力してもらっている㈱PACとの連携のもと運営自体に懸念なく、また日本フェンシング協会選手会からも普及イベントについての協力姿勢を頂いていることから同内容での開催は可能です。第4回目ともなるなか日程的にも余裕を持ち進めていくことが可能です。</p>
活動に対する 熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>第1回からのフェンシングフェスティバル開催時は0からのスタートでした。それが「まちづくりファンド」の支援を頂くなかで成長を遂げ、日本フェンシング協会からも沼津市からも認知され、日本代表合宿開催に至りました。この流れを加速させ2020年オリンピックイヤーを盛り上げるためにも開催していきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

フェンシングフェスティバルとしては、今回で4回目となります（第3回自体はこれから）。地方の普及活動イベントとして全国的にみても同様のイベント開催はなく、日本フェンシング協会及び選手会からも注目を受けています。また、第2回以降沼津市との共催事業として頂くなかで進めてきており、全日本代表合宿誘致の一つのきっかけになったものと考えており、そういった意味合いでは大成功であったと自負しております。

普及という点においては、小中学生の登録数は開催前と比較し倍増（17人→34人）しており、増加基調にあります。今後コーチ増員の必要性や練習場所の確保等の問題を抱えています。また、一般の方々に広く知ってもらうことが、2020年に近づくにつれて必要性を増しておりより宣伝広告に工夫が必要となっています。子供達へのチラシ配付に加え、マスコミへの働きかけを強化していくことにより参加者を増やす等、よりイベントの効果を広げていきたいと考えます。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。